

厚膜2液型エポキシ樹脂塗料
ポウジンテックス
#8000



- 高耐久性 (厚膜)
- 高光沢・高レベリング
- 耐薬品性
- 耐油性

優れたレベリング性、耐久性、耐薬品性

強靱で平滑な塗膜が得られる、レベリング性の良い厚膜タイプ。エポキシ樹脂ならではの特に優れた耐摩耗性・耐衝撃性や耐水性・耐薬品性・耐油性を発揮して、過酷な場所での使用にも充分耐える塗り床材です。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 厚膜タイプの高級仕上げ
- 2 強靱で光沢のある美しい床面が得られる
- 3 耐衝撃性や耐摩耗性がよく耐久性に優れている
- 4 特に耐水性、耐薬品性、耐油性に優れている
- 5 用途、目的により多様な仕様が可能
- 6 抗菌・難燃・厚労省13物質無配合仕様も可能(それぞれ#8000抗菌、#8000FP、#8000ECOをご使用ください)

用途

- 1 強靱で耐久性、耐摩耗性を必要とする工場や倉庫
- 2 強靱で耐久性、耐摩耗性を必要とする車両通行通路
- 3 食品や薬品を取り扱う工場や研究所
- 4 油をよく使う機械工場や自動車修理工場
- 5 食品工場や病室、診療室など抗菌効果が必要な床



運搬車両使用工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



厨房



機械工場



屋内パーキング



車両通行通路

性能・耐薬品性

性能		
試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付1000μm, 60度	90以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2H
耐摩耗性 (mg/摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2, 1000回転	55±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48h浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48h浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50℃温水に48h浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケート法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

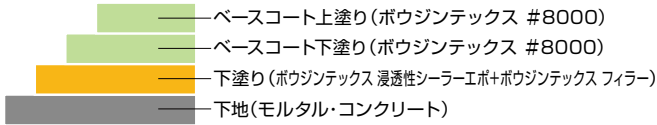
耐薬品性			
試験方法: JIS A 5705ビニル系床材の汚染性試験に準じ48hスポット試験			
薬品の種類	薬品の名称	結果	
アルカリ類	水酸化ナトリウム 5%	◎	
	水酸化カルシウム	◎	
	アンモニア水 5%	◎	
塩類	炭酸バリウム	◎	
	重炭酸ナトリウム	◎	
	炭酸ナトリウム	◎	
	塩化カルシウム	◎	
	硫酸カルシウム	◎	
	過マンガン酸カリウム5%	○	
溶剤	トルエン	△	
	アセトン	△	
	キシレン	△	
	メタノール	△	
	エタノール	△	
	ベンゼン	○	
生活材	動植物油	◎	
	ガソリン	○	
	マシン油	◎	
	食塩水	◎	
	醤油	◎	
	酒類	◎	
	洗剤類	◎	
	薬品の種類	薬品の名称	結果
		逆性石鹼 5%	◎
		クレゾール石鹼 5%	△
マーキュロクロム		◎	
消毒用アルコール		◎	
次亜塩素酸ナトリウム 1%		△	
ヨードホルム		○	
過酸化水素水 10%		◎	
フェノール 5%		△	
ホルマリン		○	
無機酸	硫酸	◎	
	硝酸	△	
	塩酸	○	
	クロム酸	△	
	磷酸	○	
	有機酸	蟻酸	△
		修酸	○
		酢酸	○
		乳酸	○
		酪酸	△
酒石酸		◎	
ステアリン酸		◎	
オレイン酸		◎	

評価 ◎異常なし ○適正あり △すぐに処理するのであれば可
注意 溶剤等揮発性の高い薬品は試験時間内に蒸発しているため、48hスポット試験になっておらず、揮発するまでの評価とした。
耐薬品性は、薬品の濃度が変化しますと結果も変化しますのでご注意ください。
薬品の使用状態により表中と異なった結果となる場合がありますのでご注意ください。

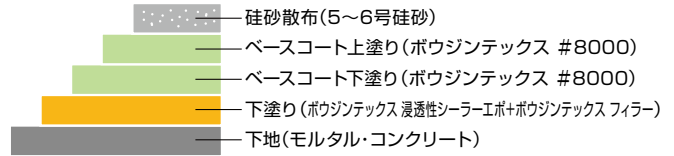
BOUJINTEX #8000

塗装工程 流しのべ工法 (膜厚1~2mm)

平滑仕上げ



防滑仕上げ



塗装仕様

■平滑仕上げ (平滑約1mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラー-エポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー-2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.4	37.5	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

*下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラー-エポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

■防滑仕上げ (防滑約1.5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラー-エポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー-2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ	1	0.4	37.5	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 中塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	3% (専用希釈剤)	金ゴテ	1	0.5	30	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に5号硅砂(0.3~0.4kg/m ²)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

*下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラー-エポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

◎抗菌工法の場合 (ベースコート上塗りに「ボウジンテックス #8000抗菌」を使用することにより、抗菌仕様が可能となります。)

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
---------------	---------------------------------------	-----	------------	---	-----	----	-----	---	---	-------------------

*抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

その他の下塗り材

下塗り	ボウジンテックス ハイプライマー-II 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー-2.5kg	0~5% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	3h以上 48h以内	—
-----	--	-------------------	------------	---	-----------------------	--------	------	---	---------------	---

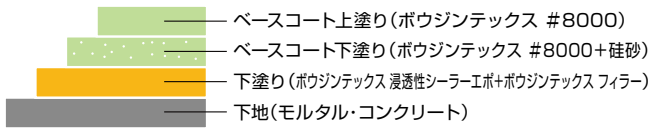
*研掃機等にて下地処理を行った場合はハイプライマー-IIが塗装可能です。 *下塗りのすい込みがはげしい場合はフィラーなしのハイプライマー-IIを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)
*塗付量にシンナーは含まれていません。

注意事項

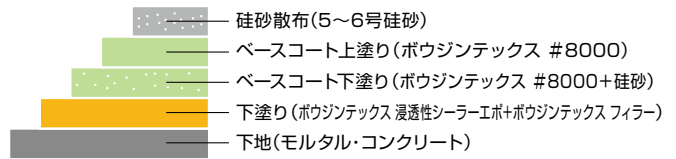
- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良を起すことがありますので施工を見合わせてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しが入り込む窓際の塗装もご注意ください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表面白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- 主剤と硬化剤の混合はハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分撹拌してください。
- 撹拌後は速やかに被塗面に流してください。(可使時間内にご使用ください。)
- ベースコート下塗りは巣穴にすり込むようにしこき塗りをしてください。
- クラック・フウセン等の処理は、下塗り養生後、エポキシパテおよび増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料(主剤+硬化剤)に対して、約1%から約3%までの添加にしてください。また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
- 防滑仕上げに使用する硅砂は5~6号硅砂を使用し、ベースコート上塗りを金ゴテで広げた後に硅砂散布し、ローラーにて面を整えてください。
- 冬季は、10℃以下の低温となりやすく、見かけ上乾燥していても実際は硬化不十分でクラックや剥離を生じる場合がありますので、ボウジンテックス #8000塗装後のマークストップは施工不可となります。
- 塗膜や塗料取り扱いは、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をせらう床には施工しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗装工程 ペースト工法 (膜厚2~3mm)

平滑仕上げ



防滑仕上げ



塗装仕様

■平滑仕上げ (平滑約2mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分子率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.2 (珪砂含む)	11.4	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

*下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

■防滑仕上げ (防滑約2mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分子率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.6 (珪砂含む)	9.6	20分	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	3% (専用希釈剤)	金ゴテ レーキ	1	0.5	30	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
珪砂散布	上塗り塗装と同時に5号珪砂(0.3~0.4kg/m ²)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

*下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

◎抗菌工法の場合 (ベースコート上塗りに「ボウジンテックス #8000抗菌」を使用することにより、抗菌仕様が可能となります。)

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
---------------	---------------------------------------	-----	------------	---	-----	----	-----	---	---	-------------------

*抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

アンダーコート仕様 (ベースコート下塗材および中塗材に「ボウジンテックス #8000」の代わりに「ボウジンテックス #8000アンダーコート」を使用することにより経済的な仕様が可能です。)

ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000アンダーコート 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂10kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	2.2 (珪砂含む)	11.4	20分	—	16h以上 48h以内	—
---------------	--	-----	------------	---	---------------	------	-----	---	----------------	---

*ベースコート下塗材に上記ボウジンテックス #8000アンダーコートを使用することにより、経済的な仕様が可能です。

*上塗り材のボウジンテックス #8000が欠損した場合、アンダーコートのグレー色が目立ちますのでご注意ください。

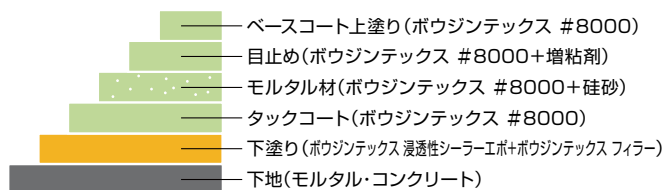
注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想される場合は、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差し入り込む窓際への塗装もご注意ください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表面白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等に清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- 主剤と硬化剤の混合はハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分攪拌してください。
- 攪拌後は速やかに被塗面に流してください。(可使時間内にご使用ください。)
- クラック・フウセン等の処理は、下塗り養生後、エポキシパテおよび増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料(主剤+硬化剤)に対して、約1%から約3%までの添加にしてください。また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
- ベースコート下塗りに使用する珪砂は6~7号珪砂をご使用ください。
- 平滑仕上げに使用する珪砂は5~6号珪砂を使用し、ベースコート上塗りを金ゴテで広げ後に珪砂散布し、ローラーにて面を整えてください。
- 冬季は、10℃以下の低温となりやすく、見かけ上乾燥していても実際は硬化不十分でクラックや剥離を生じることがありますので、ボウジンテックス #8000塗装後のマークストップは施工不可となります。
- 塗膜や塗料取り扱い時には、換気気を付けて火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさらう床には施工しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

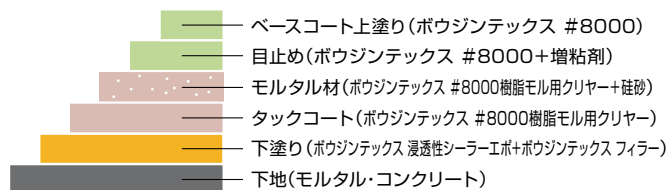
BOUJINTEX #8000

塗装工程 樹脂モルタル工法・平滑仕上げ（膜厚5mm）

エナメル使用



クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用（平滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含まれる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂90kg	無希釈	金ゴテ	1	8.0 (珪砂含む)	13.1	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	無希釈	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する珪砂は、5号を60kg+6号を30kgにてご使用ください。

※下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1h以上）

■クリヤー使用（平滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含まれる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 珪砂170kg	無希釈	金ゴテ	1	8.0 (珪砂含む)	24	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	無希釈	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する珪砂は、5号を90kg+6号を80kgにてご使用ください。

※下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。（工程内塗装間隔1h以上）

◎抗菌工法の場合（ベースコート上塗りに「ボウジンテックス #8000抗菌」を使用することにより、抗菌仕様が可能となります。）

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
---------------	---------------------------------------	-----	-----	---	-----	----	-----	---	---	-------------------

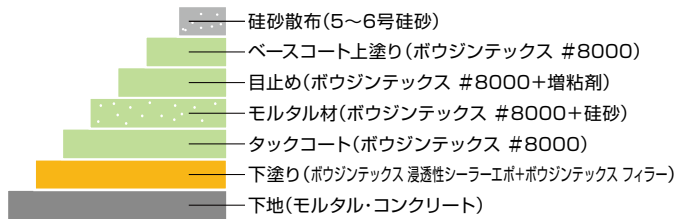
※抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

注意事項

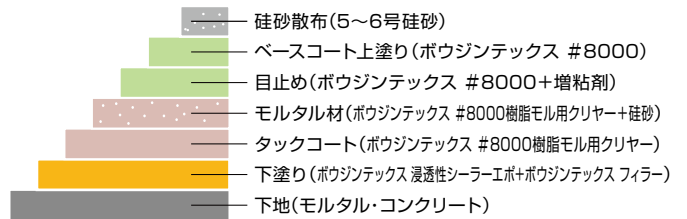
■注意事項は6ページの樹脂モル仕上げをご参照ください。

塗装工程 樹脂モルタル工法・防滑仕上げ（膜厚5mm）

エナメル使用



クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用（防滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 珪砂90kg	無希釈	金ゴテ	1	8.0 (珪砂含む)	13.1	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	無希釈	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	3% (専用希釈剤)	金ゴテ	1	0.5	30	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
珪砂散布	上塗り塗装と同時に5号珪砂(0.3~0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

※ベースコートモルタル材に使用する珪砂は、5号を60kg+6号を30kgにてご使用ください。
 ※下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

■クリヤー使用（防滑約5mm仕上げ）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 珪砂170kg	無希釈	金ゴテ	1	8.0 (珪砂含む)	24	20分	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 増粘剤0.9kg~	無希釈	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	3% (専用希釈剤)	金ゴテ	1	0.5	30	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
珪砂散布	上塗り塗装と同時に5号珪砂(0.3~0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

※ベースコートモルタル材に使用する珪砂は、5号を90kg+6号を80kgにてご使用ください。
 ※下塗り塗装の際、すい込みがばい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

◎抗菌工法の場合（ベースコート上塗りに「ボウジンテックス #8000抗菌」を使用することにより、抗菌仕様が可能となります。）

ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000抗菌 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上
---------------	---------------------------------------	-----	------------	---	-----	----	-----	---	---	-------------------

※抗菌工法は上塗りにボウジンテックス #8000抗菌をご使用ください。

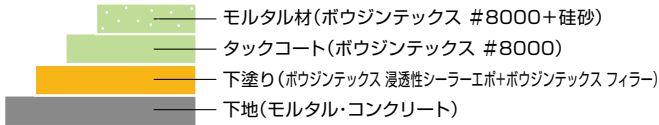
注意事項

■注意事項は6ページの樹脂モルタル仕上げをご参照ください。

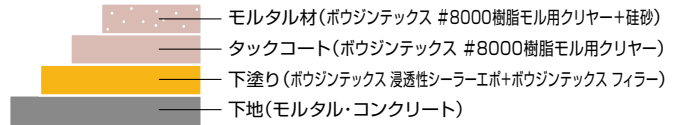
BOUJINTEX #8000

塗装工程 樹脂モルタル工法・樹脂モル仕上げ (膜厚5mm)

エナメル使用



クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用 (約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ポウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ポウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 砂砂90kg	無希釈	金ゴテ	1	10.0 (砂砂含む)	10.5	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する砂砂は、5号を60kg+6号を30kgにてご使用ください。

※下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

■クリヤー使用 (約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ポウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	無希釈	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ポウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 砂砂170kg	無希釈	金ゴテ	1	10.0 (砂砂含む)	19.1	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する砂砂は、5号を90kg+6号を80kgにてご使用ください。

※下塗り塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

※樹脂モルタル工法・樹脂モル仕上げについては抗菌仕様が不可ですのでご注意ください。

注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。
万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- クリヤーは上塗り用として使用不可です。
- 主剤と硬化剤の混合はハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分攪拌してください。
- 攪拌後は速やかに砂砂と混合してください。混合にはモルタルミキサーをご使用ください。
- タックコートを塗付後30分以上おくとモルタル材が付着しなくなるので素早く施工してください。
- クラック・フウセン等の処理は、下塗り養生後、エポキシパテおよび増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料(主剤+硬化剤)に対して、約1%から約3%までの添加にしてください。
また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
- ベースコートモルタル材に使用する砂砂の組み合わせは、3号~6号砂砂の組み合わせが可能です。(3号+6号は不可)
また砂砂の組み合わせにより、塗料と砂砂の比率が変わりますのでご注意ください。
- 樹脂モル仕様は、4mm以上で行います。
- 冬季は、10℃以下の低温となりやすく、見かけ上乾燥していても実際は硬化不十分でクラックや剥離を生じる場合がありますので、ポウジンテックス #8000塗装後のマークストップは施工不可となります。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさらう床には施工しないでください。
- 施工時および施工終了後において、十分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

カラーサンプル



注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。
発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。

荷姿

上塗り材

ボウジンテックス #8000
15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)
ボウジンテックス #8000抗菌
15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)
ボウジンテックス #8000ECO
15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)
ボウジンテックス #8000FP
15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)

※#8000FP、#8000ECOについては別途カタログを参照ください。

中塗り材

ボウジンテックス #8000アンダーコート
15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)
ボウジンテックス #8000樹脂モル用クリアー
21kgセット(主剤15kg/硬化剤6kg)

下塗り材

ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ
14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg)
3.2kgセット(主剤2.4kg/硬化剤0.8kg)
ボウジンテックス ハイプライマーII
14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg)

希釈剤

ボウジンテックス #8000専用希釈剤
16L・4L
ボウジンテックス #2000シンナー
16L・4L(ハイプライマーII用)

副資材

ボウジンテックス フィラー
5kg

硬化時間

気温	硬化剤	可使用時間	歩行可能時間	完全硬化
30℃	S型	30分	16h以上	2日以上
20℃	M型	20分	16h以上	2日以上
10℃	W型	30分	20h以上	3日以上



LINE公式
アカウント開設!
ID: @521kgmun

水谷HPは
こちら↓



本社 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3151
FAX (06) 6393-1101

大阪支店 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3401
FAX (06) 6391-3456

西日本開発部 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3401
FAX (06) 6391-3456

東京支店 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03) 3865-8177
FAX (03) 3865-8760

東日本開発部 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03) 3865-8177
FAX (03) 3865-8760

北関東支店 ☎ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22 ☎ (048) 563-0355
FAX (048) 563-5124

中部支店 ☎ 486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6 ☎ (0568) 85-3551
FAX (0568) 85-3556

広島支店 ☎ 734-0022 広島市南区東雲1-13-16 ☎ (082) 284-6556
FAX (082) 283-0017

福岡支店 ☎ 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 ☎ (092) 611-5731
FAX (092) 621-2301

仙台営業所 ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町1-22-36 ☎ (022) 782-6770
FAX (022) 232-6871

札幌営業所 ☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 ☎ (011) 824-5711
FAX (011) 824-6464

工場 本社・埼玉・中部・広島・福岡

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2309050344616